

化学と教育

第73巻 第2号 2025年 目次

ヘッドライン 色の化学

我々の生活には色があふれており、その発色メカニズムは様々である。ブルーベリーの表皮の青色は色素によるものでなく、構造色であることが明らかとなったのは記憶に新しい。「なぜその色に見えるのか？」の根底には様々なメカニズムがあり、加えて人間の脳によるバイアスも影響する。本ヘッドラインでは、化学構造・構造色・色覚の観点から、身のまわりの色について紹介する。

色素分子の化学構造と色

一色素の変遷：染料から生活を快適にする機能性色素へー	大山 陽介	44
構造色 ー物質の形が決める色ー	竹岡 敬和	48
色の科学と化学 ー色覚多様性を尊重する包摂的な授業のためにー	須長 正治	52

◆ 化学教育 徒然草

化教誌のおかげで 植田 和利	41
----------------	----

◆ 実験の広場

ビギナーのための実験マニュアル

アコヤガイの貝殻を用いたタンパク質の検出 廣瀬 里佳	56
----------------------------	----

SSH ただ今活動中！

埼玉県立熊谷西高等学校 SSH の取り組み 柿沼 孝司	58
-----------------------------	----

◆ 新・講座：シス・トランス異性体の化学

①シス・トランス異性体とは？ その定義から作り分け方まで 村田 貴嗣	59
②シス・トランス異性化による生理活性の制御 松尾 和哉	63
③ポリマーのシス・トランス異性と物性 青木 俊樹	67

表紙の言葉 茨城大学水戸キャンパス図書館

茨城大学は1949年創立の総合国立大学です。旧制水戸高等学校などを源流とし、水戸市・日立市・阿見町の3つの主要なキャンパスに、人文社会科学部、教育学部、理学部、工学部、農学部、地域未来共創学環の6学部・学環と4つの大学院研究科を有しています。「スチューデントサクセス」を掲げた学修者本位の教育マネジメントや、国内外の大学等との連携による総合気候変動科学の研究・教育の取り組みを強みとしています。

◆ Chemical Bonds	支部／教育・普及部門だより	71
------------------	---------------	----

◆ Color Gallery		
ヘッドライン	構造色 ―物質の形が決める色―	竹岡 敬和
ヘッドライン	色の科学と化学	
	―色覚多様性を尊重する包摂的な授業のために―	須長 正治
実験の広場	アコヤガイの貝殻を用いたタンパク質の検出	廣瀬 里佳

会告

△ 日本化学会から

会長講演・表彰式のお知らせ	73
2024年度日本化学会名誉会員決定のお知らせ	73
2024年度日本化学会フェローについてお知らせ	73

■ 行事一覧	74	■ 編集後記	76
■ 求人	75		

次号ヘッドライン

東アジア化学史における 日本の化学・化学者の貢献

〔令和6年度(2024年度) 化教誌編集委員会委員一覧〕

委員長	久新 莊一郎				
副委員長	兵藤 友紀	松岡 雅忠			
担当役員	近藤 輝幸	五十嵐 達也			
編集委員	飯島 隆広	池田 俊明	岩井 秀人	河西 奈保子	熊本 卓哉
	佐藤 陽子	島 隆則	高見 聡	佃 俊明	宮本 一弘
	村中 厚哉	籾内 一博	山本 哲也		